

政策整理番号 1

評価シート(A)

対象年度	H17	作成部課室	保健福祉部地域福祉課	関係部課室	保健福祉部障害福祉課、長寿社会政策課、社会福祉課、健康対策課、介護保険室
------	-----	-------	------------	-------	--------------------------------------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	1 - 1 - 1	政策名	障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり
------	-----------	-----	-------------------------------

政策概要	障害、加齢、病気などにより生活のための支援が必要になったときでも、住み慣れた家や地域で、いつまでも自分らしい暮らしをおくることのできる環境づくりを目指します。
------	---

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標	達成度
1	障害者の地域での生活支援 様々な障害などにより日常生活をする上で誰かの支援が必要な状態になったときでも、これまでと同じように住み慣れた地域でいきいきと暮らせる社会的な体制づくりを目指します。	障害者生活支援センター設置数 グループホーム設置数	… A
2	重度障害者の家庭での生活支援 難病や重い障害のために全身がほとんど動かせない方とその家族の生活の質の向上を目指します。	利用希望者に対する提供率	A
3	介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実 高齢者が介護が必要になったときに、必要なサービスを自分で選択し、そのサービスが適切に提供されるような仕組みづくりを目指します。また、高齢者が、いつまでも健康で、できる限り自立した生活を送れるようみんなで支援する体制づくりを目指すとともに、認知症高齢者にとってより良いサービスを提供するための仕組みや介護を行っている家族を支える仕組みづくりを目指します。	要支援・要介護高齢者のうち介護サービスを利用している者の割合	B
4	元気高齢者の生きがいづくり 高齢者が、多年にわたり培ってきた知識・経験を生かしながら、心身ともに健康で住み慣れた地域で社会的な活動に参加し、生きがいをもって生活できる社会づくりを目指します。	訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーションの利用回数	…
5	障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保 福祉サービスに従事する人材の確保とともに、その人材の専門的、技術的な質の一層の向上を図り、質の高いサービスを提供するための仕組みづくりを目指します。	ケアマネジメントリーダー数	B
6	NPO(民間非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進 地域で暮らす方々が、その地域の福祉の課題を発見し、NPOやボランティアをはじめとする自発的な活動でその解決を図っていく仕組みづくりを目指します。		

達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している), …(現状値が把握できないため判定不能)

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

	第5回(H17)	参考:第1~4回の推移	第4回(H16)	第3回(H15)	第2回(H14)	第1回(H13)
重視度(中央値、点) A	80.0	重視度 A	80	80	80	80
満足度(中央値、点) B	50.0	満足度 B	60	60	60	60
かい離 A-B 【かい離度】	30.0 【非常に高い】	かい離 A-B 【かい離度】	20 【高い】	20 【高い】	20 【高い】	20 【高い】
満足度60点以上の回答者割合(%)	41.7	満足度60点以上の回答者割合	63.5	58.6	59.4	-

かい離:極めて高い(40点以上), 非常に高い(30点以上~40点未満), 高い(20点以上~30点未満), 中(10点以上~20点未満), 低い(10点未満)

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第1~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号	適切	概ね適切	課題有
---------------------------	----	------	-----

A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 適切 ・各種施策の概要は、上記に記載のとおりであり、政策を実現するため施策すべてが必要と認められる。 ・本施策目的及び「みやぎ保健医療福祉プラン」の基本理念である「地域で自分らしい生活を安心して送れる社会」の実現のため、障害者や高齢者の生活支援をはじめとした地域で暮らすための仕組み作りや人材育成、地域福祉活動の推進などについて、この6施策により支援するものである。 【施策の重複・矛盾点の有無】 適切 ・障害福祉分野、高齢福祉分野の施策とともに、地域生活支援に必要な人材の確保や地域福祉活動の推進など、政策実現のための多岐にわたる各種の施策を設定しており、施策間の重複や矛盾はない。 A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 適切 ・政策満足度のかい離度が高い状況であり、県民は本政策を必要と感じていると判断した。 ・施策ごとの必要性をみると、社会経済情勢や施策満足度等の結果から、すべての施策の必要性が高いと認められる。 ・特に、施策1~5までについては、かい離度が高くなっていることから、必要性を大とした。 ・施策6については、継続的に施策に取り組む必要があることから中とした。 ・障害福祉及び高齢福祉の社会情勢をみても、地域で安心して暮らすための取り組みに重点が置かれていることから、本施策群の設定については、適切であると判断した。
--

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括
	優先度 (直近の3回)	県民が必要と感じているか()			
1	第5回	7.4%	4位	・本施策の優先度は 6施策中 4位である。 ・本施策のかい離は 30.0点と 非常に高い。 【結論】必要性: ある程度感じている	大
	第4回	11.0%	5位		
	第3回	11.0%	5位		
2		6.7%	5位	・本施策の優先度は 6施策中 5位である。 ・本施策のかい離は 30.0点と 非常に高い。 【結論】必要性: ある程度感じている	大
		11.4%	4位		
		11.3%	4位		
3		35.9%	1位	・本施策の優先度は 6施策中 1位である。 ・本施策のかい離は 30.0点と 非常に高い。 【結論】必要性: 非常に感じている	大
		42.7%	1位		
		42.3%	1位		
4		20.0%	3位	・本施策の優先度は 6施策中 3位である。 ・本施策のかい離は 30.0点と 非常に高い。 【結論】必要性: 非常に感じている	大
		13.4%	3位		
		11.9%	3位		
5		21.6%	2位	・本施策の優先度は 6施策中 2位である。 ・本施策のかい離は 30.0点と 非常に高い。 【結論】必要性: 非常に感じている	大
		15.2%	2位		
		17.1%	2位		
6		6.0%	6位	・本施策の優先度は 6施策中 6位である。 ・本施策のかい離は 30.0点と 非常に高い。 【結論】必要性: ある程度感じている	中
		5.5%	6位		
		5.7%	6位		

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 概ね適切
 ・本施策の評価指標は、施策1、4及び5の指標について適切であり、今後も継続する。このうち、施策1の指標については、日中活動の場に関する指標の設定の可能性について検討することとしている。また、施策4の指標は、新規に設定されたものであるが、適切な評価設定であると判断する。
 ・施策2の指標は、その対象が広範囲であるため、施策全体を評価できる新しい指標の設定について検討していくこととしている。
 ・施策3の指標は、最近の調査で「要支援・要介護1」の認定が増加していることから、こうした状態に見合う新たな指標について検討することとしている。
 【重視すべき施策に指標が設定されているか】 適切
 ・必要性を大とした事業については、指標が設定されており、適切である。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効 概ね有効 課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視点	政策全体	施策1	施策2	施策3	施策4	施策5	
政策評価指標達成度	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効	判定不能	概ね有効	
県民満足度	概ね有効	課題有	概ね有効	課題有	概ね有効	概ね有効	
社会経済情勢	有効	該当なし	該当なし	有効	有効	概ね有効	
全体	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効	

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

当該政策に関し、施策群設定の妥当性(A-1)、政策評価指標群の妥当性(A-2)、施策群の有効性(A-3)を総合的に検証した結果、評価指標について、現在の社会情勢の変化に適合した、より適切な評価指標の設定が可能かどうかを引き続き検討することとしているから、概ね適切であると判断した。

対象年度

H17

政策番号

1 - 1 - 1

政策名

障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり

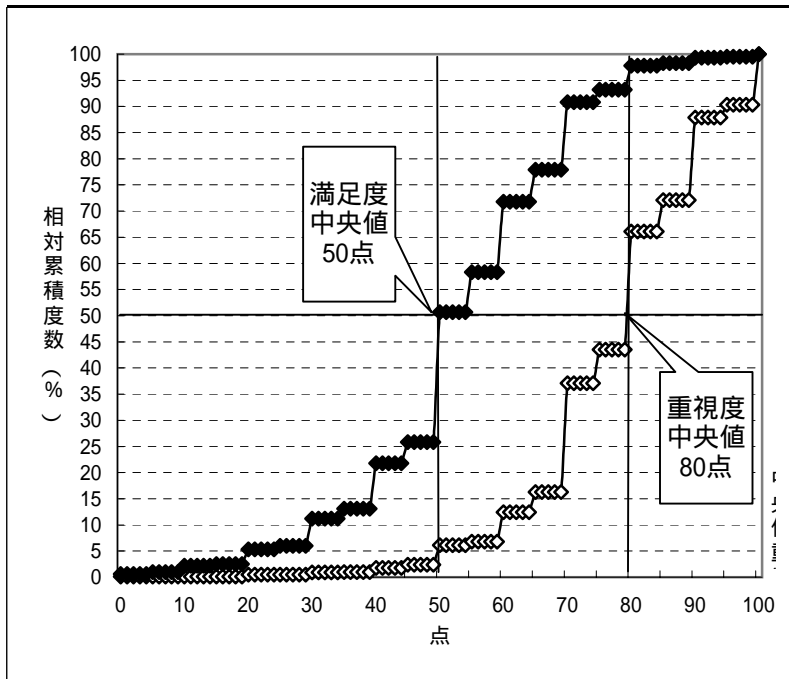
(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度

90.6

高認知度

42.3



高関心度

「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心がある」、「ある程度関心がある」を選択した回答者の全回答者に対する割合

高認知度

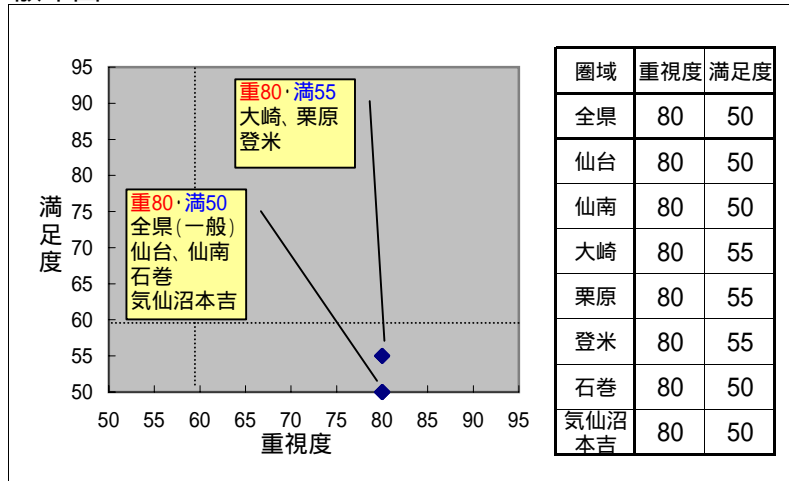
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っている」、「ある程度知っている」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量

全県

項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	80	80	80	50	60	60
第1四分位	-	-	-	45	50	50
第3四分位	-	-	-	65	65	65
四分偏差	-	-	-	10	7.5	7.5

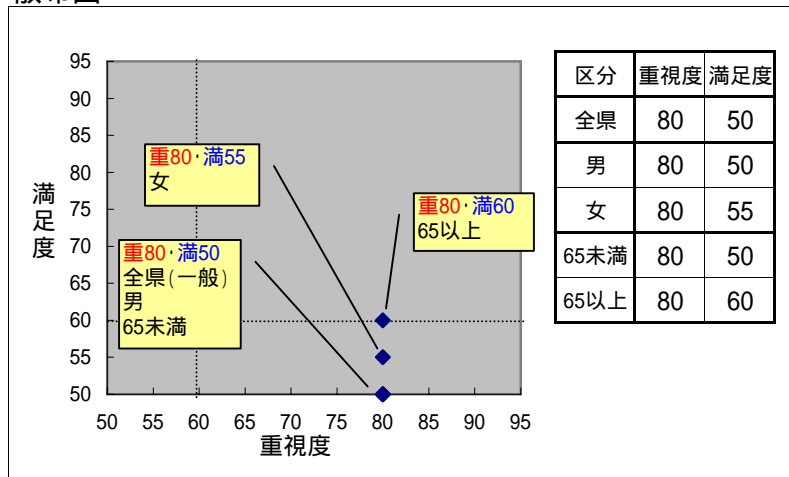
散布図



圏域別中央値(一般、市町村のみ)

圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
仙台	80	80	-	50	60	-
仙南	80	80	-	50	55	-
大崎	80	80	-	55	55	-
栗原	80	75	-	55	60	-
登米	80	75	-	55	60	-
石巻	80	75	-	50	50	-
気仙沼本吉	80	80	-	50	50	-

散布図



男女別・年代別中央値(一般のみ)

区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
男	80	-	-	50	-	-
女	80	-	-	55	-	-
65未満	80	-	-	50	-	-
65以上	80	-	-	60	-	-

対象年度 H17

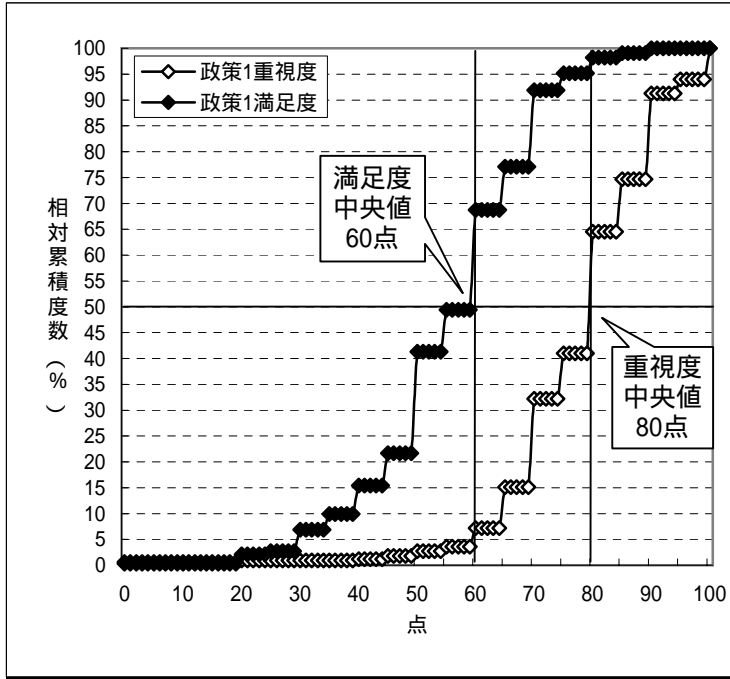
政策番号 1 - 1 - 1

政策名 障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり

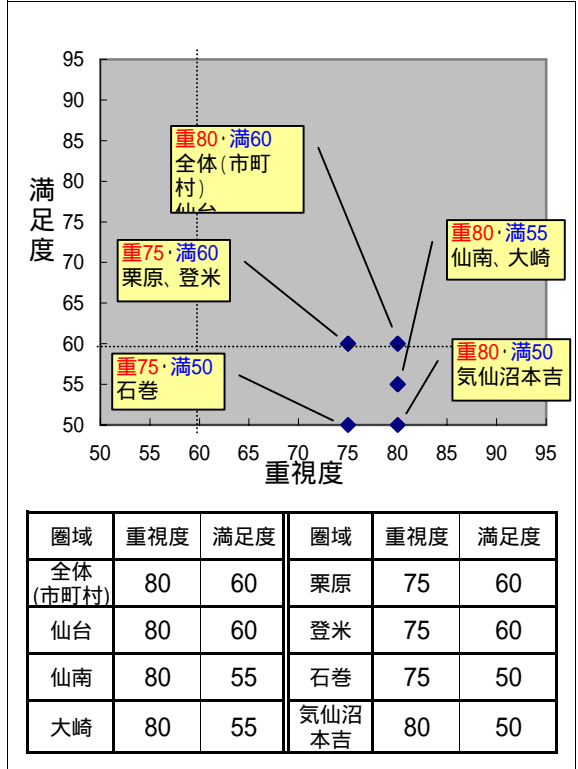
(2) 有識者(市町村職員)満足度調査結果

高関心度 92.6

高認知度 64.7



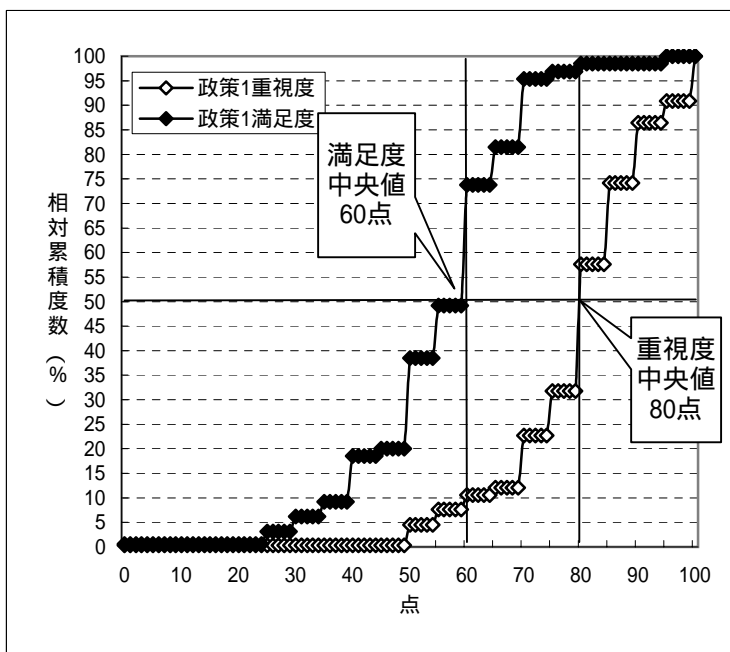
散布図



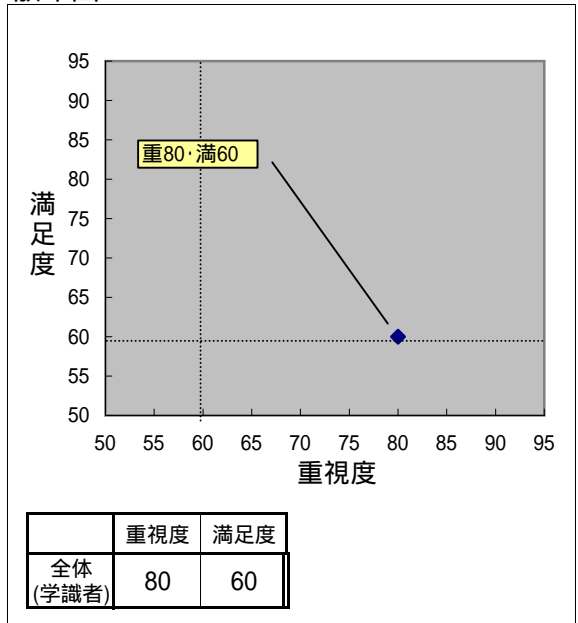
(3) 有識者(学識者)満足度調査結果

高関心度 95.6

高認知度 67.7



散布図

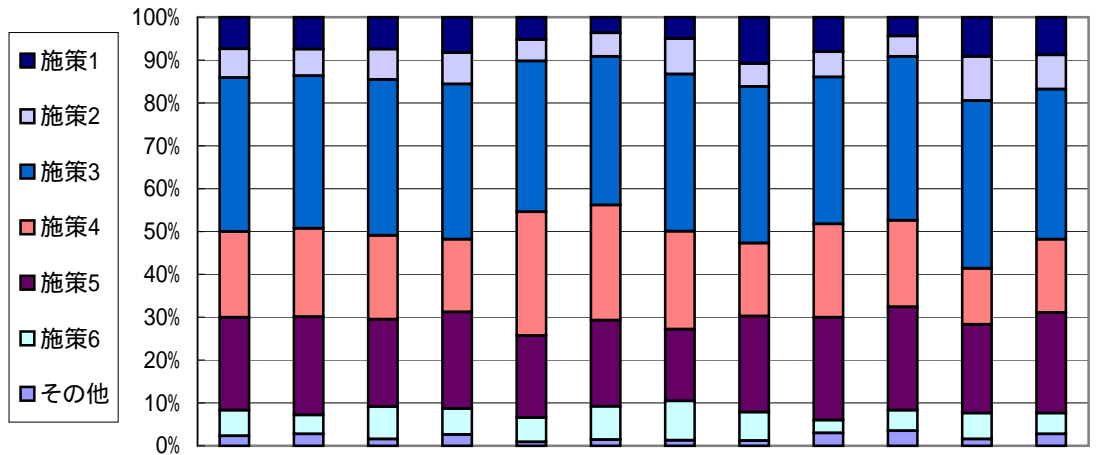


対象年度 H17

政策番号 1 - 1 - 1

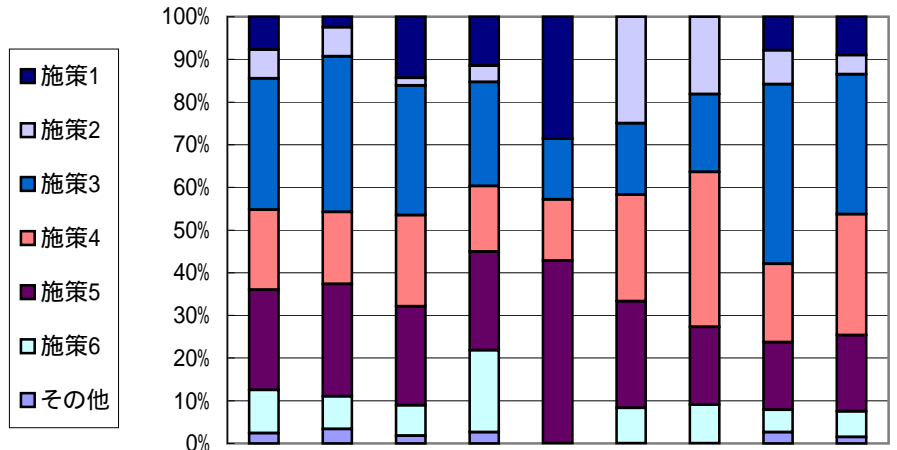
政策名 障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉
施策1	障害者の地域での生活支援	7.4	7.5	7.5	8.3	5.2	3.7	5.0	10.8	8.1	4.4	9.2	8.8
施策2	重度障害者の家庭での生活支援	6.7	6.2	7.1	7.3	5.0	5.5	8.3	5.4	5.9	4.8	10.3	8.0
施策3	介護が必要な高齢を支えるサービスの充実	35.9	35.6	36.4	36.2	35.2	34.7	36.7	36.5	34.3	38.2	39.1	35.1
施策4	元気高齢者の生きがいづくり	20.0	20.6	19.6	17.0	28.9	26.9	22.9	17.0	21.8	20.2	13.0	17.1
施策5	障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	21.6	22.9	20.4	22.5	19.1	20.1	16.7	22.4	24.0	24.1	20.7	23.5
施策6	NPO(民間非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進	6.0	4.4	7.5	6.1	5.7	7.8	9.2	6.6	3.0	4.8	6.0	4.8
	その他	2.3	2.8	1.6	2.6	0.9	1.4	1.3	1.2	3.0	3.5	1.6	2.8

(5) 有識者(市町村職員・学識者)満足度結果(施策別・優先度1位割合)



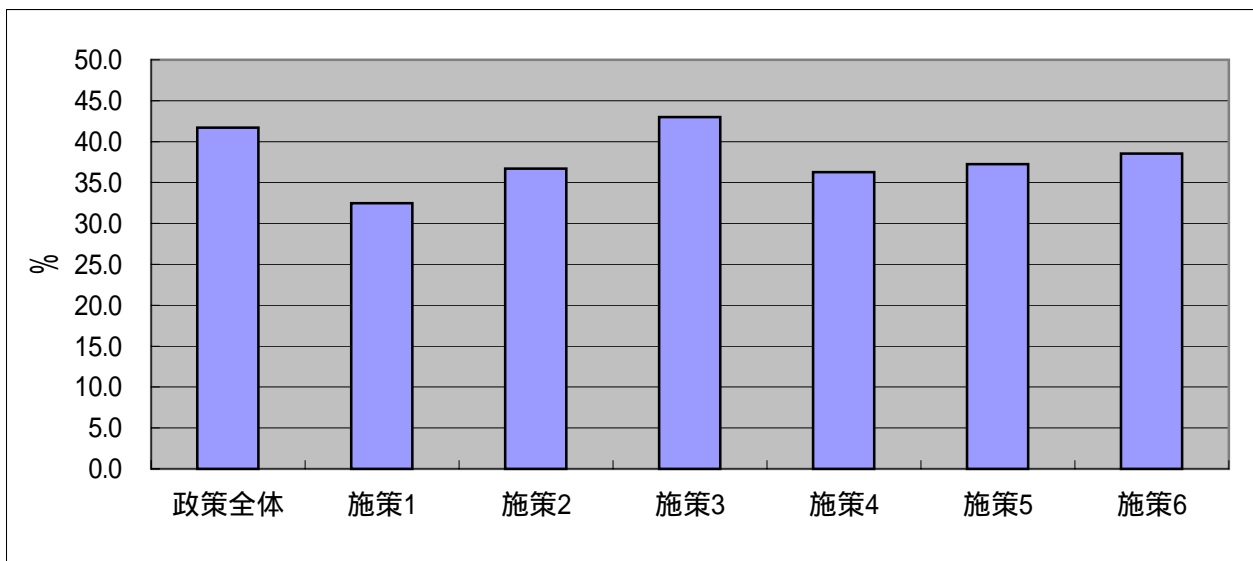
施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	
施策1	障害者の地域での生活支援	7.7	2.5	14.3	11.5	28.6	0.0	0.0	7.9	9.0
施策2	重度障害者の家庭での生活支援	6.8	6.8	1.8	3.8	0.0	25.0	18.2	7.9	4.5
施策3	介護が必要な高齢を支えるサービスの充実	30.7	36.4	30.4	24.4	14.3	16.7	18.2	42.1	32.8
施策4	元気高齢者の生きがいづくり	18.8	16.9	21.4	15.4	14.3	25.0	36.4	18.4	28.4
施策5	障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	23.5	26.3	23.2	23.1	42.9	25.0	18.2	15.8	17.9
施策6	NPO(民間非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進	10.1	7.6	7.1	19.2	0.0	8.3	9.1	5.3	6.0
	その他	2.4	3.4	1.8	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	1.5

対象年度 H17

政策番号 1 - 1 - 1

政策名 障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり

(6) 政策・施策満足度60点以上の回答者割合(一般県民、単位:%)



施策番号	施策名	第5回							
	政策全体	41.7							
施策1	障害者の地域での生活支援	32.5							
施策2	重度障害者の家庭での生活支援	36.7							
施策3	介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実	43.0							
施策4	元気高齢者の生きがいづくり	36.3							
施策5	障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	37.2							
施策6	NPO(民間非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進	38.5							